

# 第3回「つくば連携研究」合同研究会

ナノテクノロジー、ナノサイエンス分野におけるイノベーションにとって基礎的・基本的な課題から実用化に至るまでの諸課題について研究することは欠かせないことです。幅広い視野に立って最先端の研究を行うにはつくば地区の4研究機関 KEK(高エネルギー加速器研究機構)、筑波大学、NIMS(物質・材料研究機構)、AIST(産業技術総合研究所)が互いにその特徴を生かし、相乗効果を発揮できるような「つくば連携研究」が必要であり、このようなつくばシステム形成を念頭におき、第3回合同研究会を開催致します。

日時：2015年1月13日(火) 13:00～18:10

場所：筑波大学 1. 合同研究会会場 筑波大学総合研究棟B-0110号室  
2. 情報交流会会場 筑波大学総合研究棟B-0112号室

## 【プログラム】 ※ 連携研究は○印が発表者

13:00～13:10 オープニング 村上浩一 筑波大 特命教授

セッション(1) ソーラーセル 座長:末益 崇 筑波大 教授

13:10～14:00 (招待講演) “次世代太陽光発電に向けた技術課題”  
近藤道雄 産総研福島再生可能エネルギー研究所 所長代理

14:00～14:15 (連携-1) “Si系次世代PV新構造の開発”  
NIMS 深田直樹<sup>○</sup>, 筑波大 都甲薫

14:15～14:30 (連携-2) “バルクヘテロ接合型有機薄膜太陽電池の作製と特性解析”  
NIMS 安田剛<sup>○</sup>, 筑波大 丸本一弘

14:30～14:45 (連携-3) “走査プローブ顕微鏡による有機半導体素子の局所計測”  
筑波大 武内修<sup>○</sup>, NIMS 三成剛生

14:45～15:00 (連携-4) “ソーラーグレードSi開発とPVへの応用”  
筑波大 鈴木義和<sup>○</sup>, NIMS 角谷正友

15:00～15:15 (連携-5) “X線顕微鏡による有機薄膜太陽電池の分子混合状態の観測”  
KEK 武市泰男<sup>○</sup>, 筑波大 守友浩・櫻井岳暁, NIMS 安田剛

15:15～15:30 ソーラーセルセッションの全体討論

15:30～15:45 コーヒーブレイク

セッション(2) 2次電池材料と界面科学 座長:荒井和雄 筑波大 連携コーディネーター

15:45～16:35 (招待講演) “次世代2次電池へのナノマテリアル応用”  
本間 格 東北大多元研 教授

16:35～17:05 (招待講演) “次世代2次電池の全固体化と電極界面制御”  
高田和典 NIMS 環境・エネルギー材料部門 副部門長

17:05～17:20 (連携-6) “ $\pi$ 共役高分子マイクロ球体からの共鳴発光”  
筑波大 山本洋平<sup>○</sup>, NIMS(現、理科大) 古海誓一

17:20～17:35 (連携-7) “グラファイト系触媒表面の探索と酸素吸着特性の評価”  
NIMS 倉橋光紀<sup>○</sup>, 筑波大 近藤剛弘

17:35～17:50 (連携-8) “金属錯体の光誘起スイッチングにおける放射光を用いた構造と電子状態の同時観測”  
KEK 熊井玲児<sup>○</sup>, 筑波大 大塩寛紀

17:50～18:05 2次電池材料と界面科学セッションの全体討議

18:05～18:10 クロージング 山部紀久夫 筑波大 教授

18:15～19:45 情報交流会(懇親会) 会費:1,000円

主催:筑波大学 つくばナノテク拠点産学独連携人材育成プログラム

後援:つくばイノベーションアリーナ・ナノテクノロジー拠点(TIA-nano)運営最高会議

問合せ先:筑波大学つくばナノテク拠点産学独連携人材育成プログラム事務局

TEL:029-853-5910 E-MAIL:nanoelepj@pas.tsukuba.ac.jp

詳細HP:<http://www.tsukuba-honorspg.jp/wp/symposium/archives/cat6/991>